広報 さめがわ

昭和57年
6月号
No. 342
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

北は北海道から南は沖縄までの畜産技術者

鮫川村で研修会をひらく・・・・



農林水産省の畜産局畜産経営課の主催で、中央畜産技術研修会が開かれ、現地研修の会場に鮫川村鹿角平乾草供給センターが選ばれました。

この会には全国都道府県庁の畜産関係職員を初め、地方農政局、北海道開発局、沖縄総合開発事務局、国立種畜場の畜産技術職員約40名が参加されており、日本畜産の高水準技術研修会です。

5月13日午前大型バスで来村した一行は、先づ山村開発センターで、講師に選ばれた石田村長から阿武隈山系開発事業の経過と実績について講義をうけ、次いで鹿角平乾草供給センターで、乾草生産のシステムや採草牧場経営の方法などについて現地研修を行いました。

- ⊙ 6月13日　昭和57年度納税組長会議
- ⊙ 7月1日～31日　愛の血液助け合い運動
- ⊙ 7月1日～31日　河川愛護月間

今月の人口
（6月1日現在）

		前月比
人口	5,564	(＋6)
男	2,760	(－2)
女	2,804	(＋8)
世帯	1,128	(－2)

村政の歩み(38)

県立高校鮫川分校の新築計画進む

村長　石田卯子八

多年要望してきた県立東白川農商高等学校鮫川分校の校舎が新しく改築されることになり、今年は本校舎の建築が予定されました。

場所は、相当面積の運動場を必要とするところから、種々検討が加えられた結果、村民運動場の一部を県が村から借受けて用地とすることになりました。

既に県ではボーリング調査を終り、適地であるとの判断で工事の施行に入るものと思います。

わが村としては折角村民の皆さんに愛用され、親しまれた村民運動場であるだけに、その利用面積が縮少されることは、しのび難いところでありますが、青少年教育の重要性が考えられ、また多年親しみ愛された村の高校でもありますから、村議会とも協議のうえ、県の要請をうけいれることにしたわけであります。

今のところ建築すべき高校の本校舎及び体育館、附属建物の所要面積を確保するため、隣接地権者の協力を得て一部用地の拡張工事を終り、保全施設、排水路工事等を行うことにしております。

この事業によって村民運動場は従来のBコート部分が校舎敷になるので、これに代るべき第二村民運動場の性格をもつ青少年のための山村広場の建設を計画中であります。

この場所は通称「霧が久保」といわれるところで、用地となる田畑山林等について地権者の理解ある協力をお願いしております。

県立高校鮫川分校は昭和二三年の四月、地域の青少年が広く後期中等教育の機会に恵まれることを念願して、誘至設立された教育機関であります。

その後三四年の星霜を経過し、時に盛衰の歴史はありましたが、現在まで継続発展の途を歩んできたことは感慨にたえません。

創設の当時県内に三〇余校あった分校も現在は六校だけとなり、或は廃止、或は統合、稀に独立校に昇格したところもあります。

今や全国の高校進学率は九四%を超え、ほとんど義務制同様になりました。鮫川分校は阿武隈山系のこの地域に、なくてはならない高校として、今後より多くの生徒を迎えて発展させなければなりません。

わが村にとって最も身近な高校、誰でも通いやすい高校、地域のために役立つ高校として、皆様のご愛顧を頂きたいものであります。





農林水産省畜産局主催の中央畜産技術研修会は、鹿角平乾草供給センターで、粗飼料生産の技術について熱心な現地研修が行われました。ここでは石田村長と中井牧場長が指導助言に当りました。



ご苦労さまです。

去る5月2日、広畑部落約30名の方々が、官代入口から母子健康センター下までの側溝の清掃を奉仕作業で行いました。大変ご苦労さまでした。

今月の納税

村県民税（第一期分）
国民健康保険税（第一期分）
納期限　六月二五日

心配ごと相談

六月二一日（月）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター

行政相談

おめでた

四月
荻野沢　江田なぎさ　父江田和市
田尻　下重　寿夫　父下重　守

五月
戸草　本郷　広喜　父本郷喜美
岡田　舟木　健司　父舟木良一
鍬木田　須藤　浩美　父須藤光夫
巌平　藤元　和子　父藤元良美
田苗下　芳賀　春美　父芳賀　登
遠ケ竜　森　由美子　父森　義美
浅屋敷　高坂　敦子　父高坂修一

おくやみ

五月　年齢　世帯主
仁田　矢吹ミチヨ　49歳　矢吹一二
荻野沢　増谷　新光　66歳　増谷　猛
田尻　蛭田午之助　69歳　蛭田昌一

第三期山村振興事業始まる

集落の街灯や青少年広場の整備

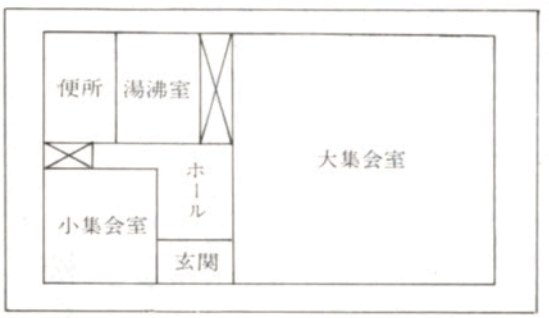
―総事業費三億五千万円―

鮫川村は先月の村政の歩みでお知らせの通り、国から第三期山村振興計画を実施する村に指定され今年から事業を始めることになりました。

事業費は、農林家戸数、耕地面積、林野面積によって算定され、五か年間に三億五千万円を配分されます。

事業内容は、農業生産基盤整備事業として圃場整備三地区、農道整備六路線、集落環境整備事業として街灯、集会施設の整備、健康増進施設整備事業としてテニスコート、夜間照明施設の整備等、魅力ある村づくりへの各種事業が計画されました。

今年度は、六、三〇〇万円の事業費で、大沢、中沢・二反田地区の農道整備、村内一六二箇所に街灯の設置、青生野区の集会施設の整備が予定されています。



▶本年度建設される青生野集会施設平面図

第三期山村振興農林漁業対策事業実施計画

事業区分	事業細目	施行箇所	事業主体	事業量
農林漁業振興事業	圃場整備	大沢地区	土地改良区	7.5ha
	〃	本坂地区	〃	3.1ha
	〃	羽双地区	〃	3.8ha
	農道	大沢地区	鮫川村	延長 500m 幅員 4m
	〃	鹿角平地区	〃	延長 800m 幅員 4m
	〃	中沢・二反田地区	〃	延長 600m 幅員 4m
	〃	石久保地区	〃	延長 800m 幅員 4m
	〃	菅田地区	〃	延長 400m 幅員 4m
	〃	赤柴地区	〃	延長 500m 幅員 4m
農林漁家定住環境整備事業	生活安全保護施設	各集落	〃	街灯 162箇所
	集会施設	青生野	青生野地域振興組合	1棟 162㎡
	広場施設	赤坂中野	鮫川村	テニスコート2面 夜間照明施設10基 管理所1棟

村政モニターから出されたアンケート調査の結果について

―その2―

四　村民の健康づくりと融和のために村民運動会はどうか

- 実施すべきである　八七・五〇%
- 今まで通りでよい　四・一七%
- 実施しない方がよい　四・一七%
- どちらでもよい　四・一七%

参加年令は小中学生を含む全村民を適当とするもの、一八才以上の青少年とするもの、四〇才以上の壮年とするものに意見が別れています。また毎年体育の日に開くべしとするもの、二・三年おきに行うのがよいとするもの等に別れています。

五　これから特に発展させるべき村の産業は

- 農業を発展させる　七五・〇〇%
- 工業　〃　四五・八三%
- 商業　〃　二〇・八三%
- 林業　〃　一六・六七%
- 観光　〃　三三・三三%

二種目を選んでの回答です。

六　これからの農業経営形態は

- 専業農家がよい　二九・一七%
- 兼業農家がよい　四五・八三%

稲作中心から他の作目中心にかえる必要があるとするもの五〇%あり、兼業農家の土地は専業農家に貸すのがよい二五%、農業経営や農事作業は共同化して行うべきである二〇・八三%ありました。

七　村道は一車線五mの巾員でよいか

- 適当である　八三・三三%
- 六mの巾員が欲しい　一六・六七%

カーブに待避所を多く設けて欲しい。用地の取得が困難とは思うが歩道をつけて欲しいという意見がありました。

八　道路の空カン公害対策

- 道路愛護会で行う　七〇・八三%
- 婦人会や老人クで行う　八・三三%
- 小中学生で行う　二〇・八三%

要所にクズ物入れを置く。立札をたて注意を促すなどの意見がありました。

郷土の松をみんなで守りましょう

―松くい虫情報―

松くい虫は、緑の松林を食荒らす悪質な害虫です。一般に健康な松には加害できず、樹木の活力が弱ったものだけに卵を産みつけて繁殖します。

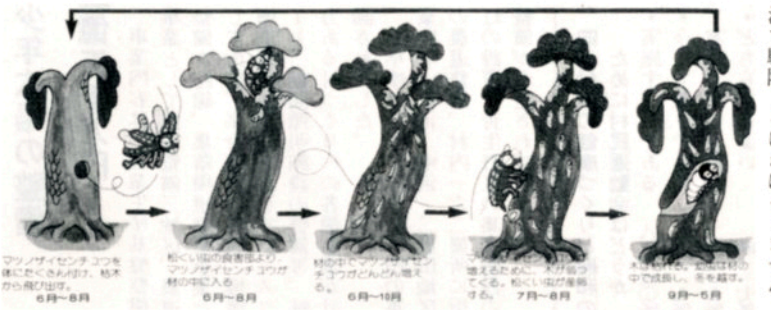
現在の松くい虫は目に見えない体長一ミリにもみたないマツノザイセンチュウという虫が、松の傷口から侵入して樹の中で生活し、松の樹脂通道組織を破かいし、松枯れの直接の原因をつくります。

このマツノザイセンチュウは、自力で外へ出ることができないので、枯れた松の材内に侵入食害しているカミキリムシ科のマツノマダラカミキリに付着して外へ脱出し、カミキリムシが栄養をとるために健全な松の皮をかじるときにカミキリムシの体から落下して繁殖します。

枯れた松にはカミキリムシなどの幼虫が付着していますので、放置すると翌年カミキリムシが発生し、被害まん延の巣となります。

東白川管内では鮫川村を除く三町に発生し、浅川町城山、いわき市田人町など隣接市町村に被害が発生拡大しています。鮫川村では被害木が確認されておりませんが松くい虫の侵入が今後予想されますので、枯れた松を発見したら役場経済課に連絡してください。

被害木は、伐倒して消毒する方法で駆除しなければなりません。



▶松くい虫とマツノザイセンチュウとの関係

台風の中心の進路予報の表示が変更されました

昭和五七年六月から

台風情報は、防災対策を立てたり、心の準備をする上で、大切な情報です。

この台風情報の利用価値を高めるため、気象庁では、昭和五七年六月から「台風の中心の進路予報の表示」を変更しました。

予報位置を点で示します

一二時間後、二四時間後の台風の中心の予報位置は、いままでは「××と○○を結ぶ線」というように表現し、テレビや新聞の図では円孤で示されていました。

これからは、一二時間後、二四時間後の最も確からしい予報位置を、点で示します。

例えば、「北緯×度×分、東経○度○分」とか「△△市の北東およそ六〇キロ」とかいうように示します。

これは、いままでは発表されていなかった情報です。

点の誤差を円で示します

最も確からしい位置を発表するわけですが、これには誤差があります。

いまの技術では、この誤差は、避けることができません。

そこで、いったいどのくらい誤差があるかということを、円で示します。この円は、最も確からしい位置を中心として描く円です。

この円を予報円と名づけています。

台風の中心はどこへ進むか

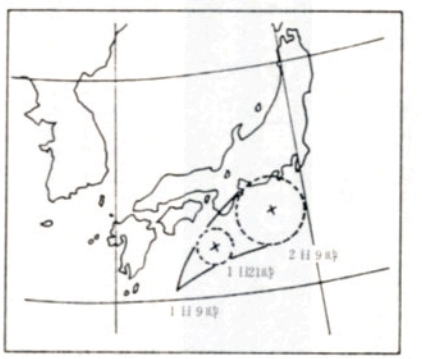
台風の中心は、最も確からしい予報位置を中心とする予報円の範囲内に進んで行く可能性が高い、というように考えて、情報を利用しましょう。

予報円は暴風域ではない

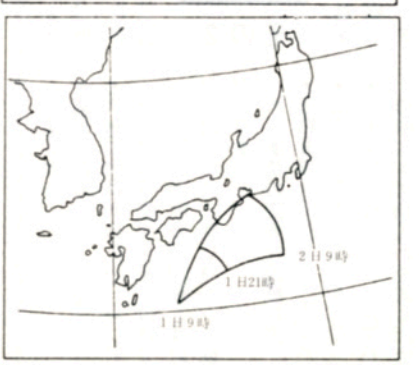
従来の表示と新しい表示は図のとおりです。

予報円を、暴風域や強風域の円形と混同しないように注意して下さい。

予報円は、台風の大きさを示すものではなく、中心の予報位置の誤差の範囲を示すものです。



◀新しい表示



◀従来の表示

森林の伐採開発には届出許可が必要です

最近、無届で森林の伐採や開発（森林を森林以外にすること）をするのが見受けられますが、これらのことを実施するには、森林法に基づいて、知事の許可または届出が必要です。

森林は、私たちの生活を守るさまざまな働き（土砂流出の防止、水資源の確保環境の保全機能）を持っています。

林地の開発にあたっては、この働きをそこなわないよう、調和のとれた安全な開発を心がけ、乱開発はさけましょう。

次のような場合は、伐採届、林地開発許可が必要です。

◎一ヘクタール（一町歩）未満の
1.雑木を伐採する場合。
2.人工林（スギ、マツ、ヒノキ）の全伐及び間伐をする場合。
3.森林を田、畑、道路、宅地（農業用施設用地も含む）などに転用する場合。
4.その他一ヘクタール（一町歩）未満の開発を行う場合。
右のような場合は伐採届が必要です。

◎一ヘクタール（一町歩）以上の
1.森林を田、畑、道路、宅地（農業用施設用地も含む）などに転用する場合。
2.その他一ヘクタール（一町歩）以上の開発を行う場合。
右のような場合は林地開発許可が必要です。

伐採届出書は、伐採を開始する九〇～三〇日前までに、伐採する森林の所在地を管轄する林業事務所に提出しなければなりません。

なお関係用紙は役場経済課にありますから申出てください。

入札情報

去る五月二九日に指名競争入札が行われ、林道大戸中・松倉線整備工事等が落札されました。

工事名	落札価額	落札者
林道大戸中・松倉線整備工事	27,500千円	塩町 深谷建設
林道鍬木田福原線整備工事	23,400	棚倉町 藤田建設
村民運動場整備工事	3,470	塩町 深谷建設
鮫川村公民館集会室一部改装工事	1,280	鮫川村 湯座建設

めぐり 各課

住民課

—その2—

今月は住民課です。住民課は村民の方々と、日常生活の上で特に関係の深い事務を担当しています。組織は戸籍住民係、福祉係、保健係の三つの係から構成されています。職員は、課長以下一一名配置され、次のような事務を担当しています。

課長 関根 武捷（新宿）
◇住民課の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

係長 藤田 洋美（広畑）
◇戸籍及び住民基本台帳に関すること
◇墓地及び埋葬に関すること。
◇主要食糧の配給事務に関すること。
◇児童館に関すること。
◇戸籍住民係、福祉係の事務に関すること。

主査 柿沼美津恵（新宿）
◇戸籍及び住民基本台帳に関すること
◇印鑑登録証明に関すること。

主査 高杉タカ子（大竹）
◇社会福祉、生活保護、児童・老人福祉に関すること。
◇民生、児童委員及び青少年の福祉に関すること。
◇職業指導に関すること。

主査 斉須 寛一（新宿）
◇国民年金に関すること。
◇身障者及び老人福祉に関すること。
◇児童扶養手当に関すること。

嘱託員 緑川 リウ（押野）
◇寝たきり老人等の家庭巡回奉仕に関する業務

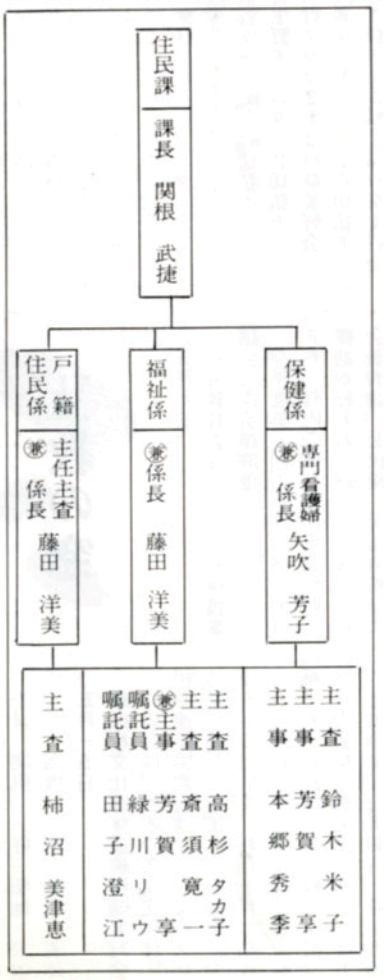
嘱託員 田子 澄江（官代）
◇寝たきり老人等の家庭巡回奉仕に関する業務

係長 矢吹 芳子（広畑）
◇保健指導に関すること。
◇予防接種に関すること。
◇診療所、母子健康センターに関すること。
◇保健係の事務に関すること。

主査 鈴木 米子（巡ケ作）
◇国民健康保険に関すること。
◇乳児医療に関すること。

主事 芳賀 亨（江竜田）
◇衛生処理組合、狂犬病予防等公害・衛生に関すること。
◇体力増強に関すること。
◇児童手当に関すること。
◇保育所に関すること。

主事 本郷 秀季（戸草）
◇国民健康保険に関すること。
◇老人医療に関すること。



公民館だより

春季早起野球大会終る

光友クラブが優勝

鮫川村体育協会（会長根本伝）主催、鮫川村野球連盟（鈴木三千男会長）主管による昭和五七年度鮫川村春季早起野球大会が、去る四月二五日から開幕し、前年度優勝の光友クラブなど一一チームが参加、Aブロック（村民運動場）Bブロック（渡瀬区民運動広場）の二ブロックリーグで熱戦が展開されました。

結果はつぎの通り

▼Aブロックリーグ

諏訪クラブ4－3中ノ沢クールス
鮫川クラブ8－1農協チーム
光友クラブ4－2西山クラブ
西山クラブ5－1農協チーム
諏訪クラブ不戦勝－不戦敗鮫川クラブ
光友クラブ4－0諏訪クラブ
西山クラブ0－0中ノ沢クールス
西山クラブ7－0諏訪クラブ
中ノ沢クールス不戦勝－不戦敗農協チーム
光友クラブ2－1鮫川クラブ
農協チーム不戦勝－不戦敗諏訪クラブ
光友クラブ11－1農協チーム
光友クラブ3－1中ノ沢クールス
西山クラブ5－2鮫川クラブ
鮫川クラブ0－0中ノ沢クールス

▼Bブロックリーグ

渡瀬ルーキーズ6－2青生野チーム
熊野クラブ不戦勝－不戦敗切払チール
青生野チーム9－2切払チーム
熊野クラブ2－2戸草愛好会
渡瀬ルーキーズ4－0切払チーム
青生野チーム不戦勝－不戦敗戸草愛好会
熊野クラブ2－0渡瀬ルーキーズ
熊野クラブ4－1青生野チーム
戸草愛好会不戦勝－不戦敗切払チーム
渡瀬ルーキーズ2－2戸草愛好会

▼決勝（五月一八日）

光友クラブ1－0熊野クラブ



熱戦が展開された春季早起野球大会

福島県芸術祭俳句大会のお知らせ

昭和57年度福島県芸術祭俳句大会が、下記のとおり塙町で開催されます。俳句は風土の美しさをたたえ、人間の哀歓を詠う詩民の歌です。どうぞ皆様の力作を投句されるようお知らせします。

◇日　時　57年９月19日午前10時～午後３時
◇場　所　塙町公民館　集会室
◇講　演　田川飛旅子先生
◇出　句　雑詠二句　一組（ただし未発表作品）
◇出句料　一組金千円（幾組でもよい）
　出句料は投句のとき必ず同封（定額小為替又は現金書留）
◇締　切　57年６月30日
◇投句先　塙町字大町３―19　塙町公民館内
　県芸術祭俳句大会宛

上記のとおりですが、村公民館では皆様の便宜を図り６月25日まで投句をお預りします。

社教の窓



「越物太郎就縛の地」を調査する社会教育委員と文化財保護審議会委員の皆さん

◇五月六日

社会教育委員会、文化財保護審議会合同会議開催

今年度第一回の合同会議が開催され、村内の県・村指定文化財の探訪が行われ、終って午後から社会教育課、公民館、民俗資料館の諸事業について審議された。

新しく任命された文化財保護審議会委員は次のとおりです。

会長　杉山　忠男
委員　関根　一好、菊地　栄敏
　　高坂　尹、赤坂　義郎

◇五月一五日

鮫川村文化団体連絡協議会総会

この会は、村内の各文化団体の相互連絡協調をはかり、芸術文化活動を通じて村民文化の振興と向上を図る目的で、昨年五月に結成された。村内一一の文化団体で組織され、会長は、奥の鮫川文芸クラブ代表杉山忠男氏、総会では五六年度事業、決算報告、新年度事業計画・予算が決まり、これからの活動が期待されます。

◇五月二一日

体育指導委員会開催

五七年度社会体育事業の進めかたや、村体育協会事業に対する協力について協議されました。

また本年度は、東白体育指導委員連絡協議会会長に生方利夫鮫川村体指会長が選任され、東白親善球技大会（ソフト、家庭バレーボール）が、七月一八日村民運動場等で開催されます。

◇五月二四日

愛鳥週間ポスター図案コンクール

村内各小学校から選ばれた作品七五点の審査が行われ、次のとおり入賞が決まりました。

青生野小学校
金賞　三年　岡部　美重
銀賞　三年　土手内隆敏
銅賞　二年　生田目　満

ふるさとの民話と伝説 —35—



天狗の土俵石

県道黒田浅川線より、仁田部落へ通じる旧道の道端に、大きな御影石がありました。

この石にまつわる話がありますので、つぎに紹介いたします。

「雨の降る夜や霧雨の降る、きわめて暗い夜になりますと、この石のあたりで、木を割るような大きな音、人のささやくさびしい声がして、実にいやな感じを道ゆく人に与えました。さらに、道行く人の顔をなでるものがあり、もっているあかりをも消されるということで、ここを通る人々は大変難渋しました。

このように奇妙なことがおこるところにあった寄石、この天狗が相撲をとったと伝えられる土俵の形をした大石は、天狗の土俵石と名付けられました。

◇　◇

天狗の土俵石は、いま現存せず、いつしか、石工にとりこわされ、石垣を積む石材となり、姿がなくなってしまいました。

「世の中が開け次第に、自然が破壊され、昔の面影が無くなるのが残念ですナァ」と語り人の弁が印象的でした。

（矢吹マス氏語、吉田喜雄採話）

さつき展

鮫川村盆栽愛好会（会長前田正男）主催による「さつき展」は、六月一七日から同一九日までの三日間、山村開発センターで開催され、各大字から名花一〇〇点が出陳されます。

任命

任期満了により新しく文化財保護審議会委員に次の方が任命されました。

任　期　五七年四月1日～五九年三月三一日

杉山　忠男　再
関根　一好　再
菊地　栄敏　再
赤坂　義郎　再

人事

高坂　尹元

公民館副館長兼務
社会教育主事芳賀正訓

公民館方式結婚

五月に、山村開発センターで挙げられた公民館方式の結婚式は、次のとおりでした。

おめでとうございます。

新郎　近藤保弘（新　宿、保典　長男）
新婦　深谷昌子（大信村、信隆　長女）

媒妁人　石田明子八様
　　末子　様



— 5月 —

〃　五年　山形　美好
渡瀬小学校
金賞　四年　山形　由紀
銀賞　六年　蛭田さとみ
銅賞　六年　山形みさえ
〃　六年　一ノ渡美香
富田小学校
金賞　六年　松本　和子
銀賞　五年　鷺野谷弘美
銅賞　三年　青戸　美子
〃　六年　石井樹美代
西野小学校
金賞　四年　矢吹　和子
銀賞　六年　舟木　律子
銅賞　五年　舟木　明男
〃　四年　阿久津修司
西山小学校
金賞　五年　市川　正人
銀賞　五年　松崎　孝幸
銅賞　四年　高野　治夫
〃　六年　斉藤由美子
鮫川小学校
金賞　四年　須藤　竜一
〃　六年　酒井　安代
銀賞　四年　野崎　三男
〃　六年　前田　富子
銅賞　三年　須藤　良枝
〃　四年　宗田　早苗
〃　五年　鈴木　昭成
〃　六年　大楽　勝之

六月二〇日まで歴史民俗資料館に展示してあります。

◇五月二七日

第二回社会学級開催

老人の交通事故と交通ルールについて、講師の棚倉警察署田辺交通主任と鮫川駐在所三浦主任さんから交通事故の事例、映画等によるわかりやすい安全教育を受講しました。



老人の交通事故と交通ルールについてのお話。
棚倉警察署田辺交通主任

◇五月二九日

史探会総会

歴史研究グループ・史探会（会長関根一好氏）では午後一時三〇分から、山村開発センターで総会を開き、昭和五七年度事業や予算を議決し、役員の改選を行いました。

会長には関根一好氏、副会長に青戸良一氏、会計に田中義明氏が選任されました。現在会員数二二名。入会希望者は、前記役員までご連絡ください。

健康の維持増進
体育事業ご案内



月	日	曜	行事名	会場	内容	主管
8			スポーツ少年団体育大会		各種目	県体協 スポーツ少年団
	22	日	県民スポーツ県南大会	西郷村 大信村	壮年ソフトボール・家庭バレーボール 卓球・バトミントン・軟式庭球	県体協 県南体協
	下旬		第30回県連青体育大会	福島市	各種目	県体協 県連青
9	12	日	青年ソフトボール大会	村民運動場	ソフトボール	ソフトボール協会
	26	日	第36回野球大会	村民運動場	軟式野球トーナメント戦	野球連盟
10	10	日	第28回健康づくり秋季大会	村民運動場 トレーニングセンター	ソフトボール 家庭バレーボール	村体協
	17	日	東白OB ソフトボール大会	村民運動場	壮年OBソフトボール	ソフトボール審判協会
11	上旬	日	球おさめ会	各地区	ソフトボール・野球 家庭バレーボール	地区体協
1	23	日	鮫川村スキー教室	沼尻スキー場	初歩のスキー教室	教育委員会・村体協
2	6	日	卓球・バトミントン大会	トレーニングセンター	卓球・バトミントン	卓球・バトミントン愛好会

鮫川村体育協会役員

顧問　石田卯子八（村長）
　　矢部元良（教育長）
　　矢吹孝之助（元会長）
会長　根本伝
副会長　生方利夫
　　藤田一夫
監事　早川光久
　　森田嗣
理事　鈴木一良（ソフト審判協会）
　　坂本忠雄（バレー審判協会）
　　南條仁孝（野球審判協会）
　　芳賀義美（野球）
　　遠藤セツ（家庭バレー）
　　水野博和（卓球）
　　北條利雄（バトミントン）
　　斎藤実（軟式庭球）
　　佐藤博（バレーボール）
　　藤田一夫（地区体協）
　　根本弘（地区体協）
　　生方利夫（地区体協）
　　前田正則（地区体協）
　　船木彦助（地区体協）
　　国井鬼子治（地区体協）
　　中島唯男（地区体協）
　　大橋邦次（職場体協）
　　早川光久（スポーツ少年団）
　　阿久津光翁（ソフトボール協会）
事務局長　鈴木英亮（社教課長）
次長　芳賀正則（社教主事）
局員　鈴木和則（主査）
　　斉藤政明（嘱託員）
会計　下重三男（社教指導員）



体力づくりと

昭和57年度社会

月	日	曜	行事名	会場	内容	主管
4	23	金	野球審判講習会	開発センター	軟式野球	教育委員会
	25 ～	日	早起き野球大会	村民運動場 渡瀬区運動広場	登録チームのリーグ戦	野球連盟
5	28	金	家庭バレーボール実技講習会	鮫中体育館	家庭バレーボール	教育委員会
	28	金	ソフトボール指導者講習会	開発センター	ソフトボール新ルール講習	教育委員会 ソフトボール審判協会
	中旬～6月上旬		球はじめ会	各地区	ソフトボール・家庭バレーボール他	地区体協
6	6	日	第27回 健康づくり夏季大会	村民運動場 鮫小中体育館	壮年ソフトボール 家庭バレーボール	村体協
	20	日	第35回野球大会	村民運動場	軟式野球トーナメント戦	野球連盟
	27	日	東白親善球技大会村予選会 県民スポーツ村予選会	村民運動場 鮫小中体育館	壮年ソフトボール・家庭バレーボール 卓球・バトミントン・軟式庭球	村体協
7	11	日	OB球技大会	村民運動場 鮫中体育館	壮年OBソフトボール OB家庭バレーボール	村体協
	18	日	東白親善球技大会	鮫川村	壮年ソフトボール 家庭バレーボール	東白体指連
	22	木	少年少女球技大会	村民運動場	小学生男女混合ソフトボール	教育委員会 スポーツ少年団
8	1	日	職場職域球技大会	村民運動場 鮫中体育館	男女混合ソフトボール 家庭バレーボール	職場職域体協
	8	日	第2回 民友杯争奪野球大会	村民運動場	軟式野球トーナメント戦	野球連盟
	10	日	少年少女球技大会	鮫中体育館	中学生バレーボール	教育委員会 スポーツ少年団

※ 各種スポーツ大会等に参加する方は、必ずスポーツ傷害保険（年間保険料大人一人六八〇円、内自己負担五〇〇円、村補助一八〇円、小人一人三四〇円）に加入してください。

△ スポーツ傷害保険に加入しないで大会等に参加して事故が発生しても、主催側においては、一切負担は負いません。

◎ 開催期日及び会場は都合によって変更する場合もあります。

◎ 不明な点は鮫川村山村開発センター内、体育協会事務局（九―二三四七）へお問い合せください。



▲スキー教室の子供たち

六月は現況届の提出期間です

―児童手当を受けている方へ―

児童手当の支給を受けている方は、六月一日から二五日までの間に「児童手当現況届」を村役場に提出することになっています。

現況届は、引き続いて児童手当を受けるための大切な手続きです。

この現況届は、受給者の前年の所得の状況と、六月一日現在での児童養育の状況などを確認するために提出していただくものです。

もし、この届を出さないと、受給できる資格があっても、六月分以後の児童手当の支払いを受けられなくなりますから、必ず期限までに提出してください。

児童手当の内容や届け出の手続きなど詳しいことは、役場住民課保健係にお尋ねください。



保険料の免除手続きはお早目に

国民年金の保険料は、一か月分五、二二〇円（附加保険料五、六二〇円）ですが、失業や収入減などのために、保険料の納付が困難な方は、申出によって保険料が免除される制度があります。

六月までに手続きをすれば、今年の四月分から一年間は有効です。保険料が免除されても、障害年金などは納めた人と同じ額を受けられますから、滞納のままにしないで、必ず役場住民課の窓口で免除の申請をして下さい。

ただし、老令年金は、免除を受けた期間だけ三分の一の額に減らされますから、保険料を納められるようになったら、すぐ追納をしてください。一〇年以内の分までは、旧料金で納付できます。

住民課年金係

生活援助資金をご利用ください

村社会福祉協議会では、村内に居住する低所得者を対象に、必要な生活資金の貸付を行っております。

今年は、篤志寄付の一部を貸付事業資金に繰入れて、原資一〇〇万円で運用することになりました。

高額医療費の支払いなどにお困りのときは、ご利用ください。

記

一、貸付限度額
一世帯五万円以内。（特に必要と認めたときはこの限りでない）

二、貸付期間　一年以内

三、利子等　無利子、無担保です。

四、借入れの申出等
地区担当の民生委員に申し出てください。

五、返済の方法
貸付金は、貸付期間内に一時または分割で返済できます。

その他詳しいことは、住民課福祉係におたずねください。

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	5月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週 月 木曜日	1.5.8.12.15 19.22.26.29
	不燃物	隔週金曜日	2.16.30
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週 火 木曜日	1.6.8.13.15 20.22.27.29
	不燃物	隔週金曜日	2.16.30
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	1.15.29
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	14.28
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週毎の金曜日	9
官代～橋久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	2.16.30

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日（曜）	当番医院 棚倉町	塙町	矢祭町
7月4日(日)	菅原	中島	
11日(日)	薄葉	車田	
18日(日)	大木	根本	
25日(日)	藤巻	厚生病院	

ふだんから 防災体制づくりを!!

六月は梅雨シーズン。

長雨や集中豪雨などによって地盤がゆるみ、がけ崩れや地すべりが発生しやすくなります。

がけ崩れは、一瞬にして家屋や人命が失われるおそろしい災害です。

長雨や豪雨のときはもちろん、地震の後の雨もがけ崩れの赤信号です。

〝いざ〟というときに備えて、避難方法や避難場所など常に考え防災体制づくりをしておきましょう。

○　たき火を実施する前には必ず消防署に連絡し、許可を受けてください。

○　夜九時は消防の時間です。就寝前に火の元の安全を確かめましょう。

「火の始末 しっかり守って 楽しいくらし」

棚倉消防署鮫川分署

